SSH Super Science Highschool	SSHNEWS ａｒｋｈｅ	2022.9.30 No.184	発行：屋代高校 SSH 推進担当

今回は夏休み後に実施された活動の報告です。探究活動に関わる大きな行事が続きました。

＜課題研究・課題探究　中間発表会＞　報告

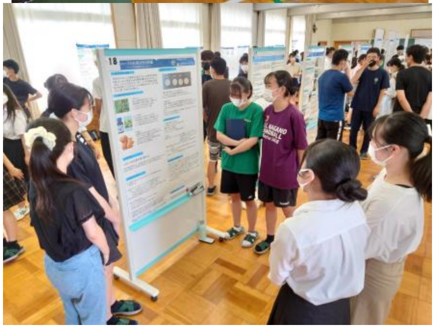
実施日時　　８月 27 日（土）８：30～12：00

実施会場　　第２体育館（開閉会式）・多目的教室・２棟の各教室

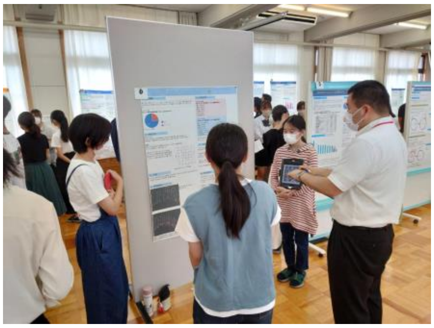
助言者　　伊藤冬樹先生（信州大学教育学部）、樽田誠一先生（信州大学工学部）、
太田哲先生（信州大学理学部）、羽田司先生（長野大学環境ツーリズム学部）、
内海重宣先生（公立諏訪東京理科大学）、利根川太郎先生（JST）、
奥原靖彦先生（長野県教育委員会学びの改革支援課）

内　　容

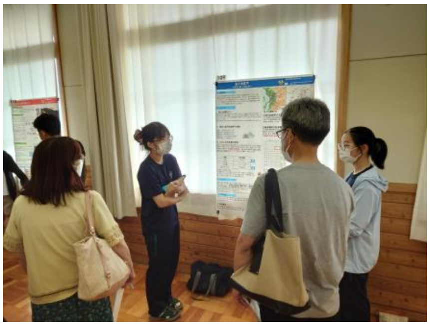
高校 2 年生が各会場に分かれて、課題研究・課題研究の中間発表を、第 1 部は非公開、第２部は公開として、ポスターセッション形式で行いました。当日は授業公開日でしたので、一般の方（保護者の方）も多く見に来られました。県内の他の高校からも、関係の先生方が多く見に来られました。



ポスターの前で熱心に説明する生徒達と、それを頷きながら感心して聴いて、時に質問や助言をしてくださる聴衆の方々、アカデミックな雰囲気が感じられる会でした。



運営面の反省点があります。多目的教室には多くの聴衆が集まったのに対して、2 棟の教室（特に 3 階）には聴いてくれる方が少なかった事です。この行事は、元々は体育館で行っていたのですが、クーラーの利いた部屋で行った方が良いのではという事で、今年度は多目的室を使用してみました。来年は今年度の反省を生かして実施したいと思います。



閉会式では、助言者の先生方からお一人ずつ、激励の言葉をいただきました。探究活動はこれから先、3 年生になっても継続して行われます。今回の中間発表で頂いた助言を生かして、さらに深まった研究にしていってください。

＜生徒感想＞

・同じ学年の人だけでなく保護者の方の意見や専門の方の意見を聞くことをでき、気づくことができなかった研究の課題や、さらに研究した方がいいことを発見することができました。また、他の班の発表を聞く中で今まで知らなかったことを詳しく学ぶことができたため有意義な時間となりました。今日の経験を活かして今後の研究や発表に繋げたいです。

・自分達の発表を皆さんに見ていただき、とても楽しかったし、とても参考になったので良かったです。

・研究の途中で今の状況をポスターにまとめた事は、今までやってきた研究を一度きちんと整理し、今後どういう方向で進めていくかを考える上でとても良い時間だったと思いますし、大学などからお越しくださった先生方に質問や的確なアドバイスをしていただいてとても勉強になりました。大学の先生方は私たちが考えられていなかった角度から研究へのアドバイスをしてくださったので、もう一度その観点からも調べていきたいと思いました。全体としてとても良い経験になったと思います。

・ポスターセッションは初めてでしたが、とても良い経験になりました。多くの方に意見をいただくことが出来たので、それらを活かしてさらに良い探究学習にしたいです。

＜高１野外観察実習＞　報告

実 施 日　　8月25日（木）

実習場所　　上高地コース（１・４組）　　上高地ビジターセンターから散策
　　乗鞍高原コース（２・３組）　乗鞍自然保護センターから大雪渓、国民休暇村
　　志賀高原コース（５・６組）　前山リフトから四十八池の散策
　　戸隠化石採集コース（７組）　実習および戸隠地質化石博物館

　天候やコロナ感染症が心配されましたが、全行程予定通りに、無事に実施することができました。特に天候は、何とかギリギリ逃げ切ったという感じで、前日までと当日の夕方からは降雨でした。

　ちなみに、学年生徒全員で自然観察実習を行っている学校は、全国のＳＳＨ校の中でも極めて珍しく、本校の特色の一つです。本校では、「実験・実習・体験」に基づいた理数系教育を重視しており、このような機会を長年積み重ねてきました。ガイドを務めてくださった講師の方々や企画をしてくださった先生方、本当にありがとうございました。

＜生徒感想＞（上高地）

・教科書やインターネットの画像や動画で全てを知ったような気でいたが、今回の野外学習を通して、実際に自分の目、肌、耳などで自然を感じ、新しく学んだことが多い１日となった。肉眼で景色を見たり、実際の空気・水の冷たさを肌で学ぶことは日常生活では味わえない楽しさがあり、フィールドワークに対して重要性を感じるとともに、深く興味を持つことができた。これからもこのような機会を大切にして、自分の体で経験する活動に積極的に取り組んでいきたい。

・私は上高地に行くのが初めてだったが、人の手が全く加わっていない原生林、川を目の当たりにして、自然の雄大さ、素晴らしさを実感し、物凄く圧倒された。街路樹や人工林を見て、木は環境に良いとか自然は良いとかを言っていた自分を、恥ずかしく思うくらい、原生林の生命力の強さ、その姿勢、生態系の豊かさがとことん詰まっている感じが本当によく伝わり、これから自然や生態系について問題視し、考えていくきっかけになった。木や草花の生命力は本当に強く、どこまでも根を張って生きようとするその様子に、心を打たれたし、私も小さな事でクヨクヨしたり諦めてしまったりせず、最後まで、できるところまで、一生懸命頑張らないといけないと思った。又、自分が普段暮らしている場所では感じられない、自然の生態系や空気の良さ、気持ちが良い涼しさを感じることができて、今まで溜まっていた疲労を癒し、自分自身リフレッシュすることができた。川の水もすごく綺麗で透き通っていて、そして冷たくて、すごく癒された。自分は田舎に住んでいると思っていたが、自分が住んでいる場所は実際にそこまで田舎ではないことに気付いたし、このような自然を体全体で感じられる経験は、これから大人になればなる程、なかなか無いと思うので、良い経験になった。

＜生徒感想＞（乗鞍高原）

・自然について、木やキノコなど沢山の知識を身につけることができ、充実した一日となりました。いつもの住んでいる地域にとどまらず、他の場所に行き、環境や講師の方のお話を聞くことで普段と違う経験が得られて、新たに多くのことを学ぶことができました。自然環境について興味が高まりました。これから色々なことに興味を持って過ごしていきたいです。私は、講師の方に教えていただいた「ありがとうゲーム」を実践していきたいです。

＜生徒感想＞（志賀高原）

・今まで一度も行ったことがなかったこともあり、感心をもつことができた。特に講師の方が説明して下さる志賀高原の自然のでき方や歴史を、実物を見ながら聞くことがとても充実していて楽しかった。
・ジブリ作品でしか見たことがないような景色を実際に見ることができて感動した。
・自然を体験出来た貴重な機会となりました。こういう活動は可能な限り増やしていけばいいと思います。

＜生徒感想＞（戸隠）

・小学校の時に行った場所だったが、知識が増えてから行くとまた違った見方ができてとても面白かった。長野県の昔の状態を化石から考え、広げていくという面白い見方ができた。
・地学は触れる機会はないけど化石とかを分析するために植物のこととか生物のこと歴史も知っていないといけないとても大変でとても重要なものなんだとわかりました。地層も実際に見て手で触ることでより違いがわかったので実際にいろんなことをするというのはとても大切なんだと思いました。

お知らせ

「屋代高校の名を背負って競う方」 を募集します

「第 12 回科学の甲子園全国大会（令和５年３月）」に向けての長野県予選（信州サイエンステクノロジーコンテスト）は令和４年 11 月 13 日（日）に実施予定です。

☆屋代高校では、例年、高２・高１を中心に複数チームが参加をしています。
☆詳しい要項が届いたら、HR で情報をお伝えします。
☆多くの方の挑戦を期待して、応援しています！！

「サイエンススタッフ」 を募集します

「主体性・創造性に満ちた生徒育成」のため、また理数科対象の一部のプログラムに、普通科の生徒も参加できるようにすることを目的に、「サイエンススタッフ」を組織しています。
学年や学科等の制限はありません。（附属中学生も OK）
具体的には、以下のような活動ができます。（他にも要望があれば取り入れます）

- **理数科対象の連携講座（アカデミックサイエンスなど）に参加することができる。**
  （※ただし一部のプログラムに限ります。また人数制限があります。）
- **ＳＳＨ事業の運営や、サイエンスフォーラムの講師選定などに携わることができる。**

など

興味・関心のある生徒は、地学研究室の SSH 担当大石まで申し出てください。
（いつでも受け付けています）

「屋代高校SSHのホームページ」

SSH の 20 年の歩みがわかる HP です。
活動報告の中に SSH 通信のページがあり、この arkhe もフルカラーで掲載されています。右の QR コード、あるいは下の URL よりご覧ください。
https://yashiro.jpn.org/SSH